

サイコロ検定の出題範囲と審査基準について

5級	
レベル	小学2年生以上
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none">● 5色足し算（20面体×2つと12面体×3つを使用）● 2桁+2桁（20面体×2を使用）● 3色かけ算（12面体×3を使用）
審査基準	<ul style="list-style-type: none">● 2桁+2桁の足し算が3秒以内に暗算できる● 2桁×1桁のかけ算が3秒以内に暗算できる

4級	
レベル	小学4年生以上（暗算シート使用OK）
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none">● 3色かけ算（12面体×3つを使用）● 2桁+2桁（20面体×2を使用）● 3桁から2桁の引き算● 2乗の計算（14×14など）
審査基準	<ul style="list-style-type: none">● 暗算シートを利用しながら工夫して暗算できている。● サイコロ道場のかけ算のやり方を説明できる。● 繰り上がり・繰り下がりをマスターしている。

3級	
レベル	中学受験・高校受験レベル
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none">● 20面体×3個のかけ算● 20面体×2個+12面体×1個

	● 3乗の暗算（ $12 \times 12 \times 12$ など）
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 答えが5桁になる暗算ができること ● 暗算シートのやり方をマスターしている ● 攻略本のやり方をマスターしている

2級	
レベル	高等数学レベル
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 20面体×4個のかけ算 ● 30面体×3個のかけ算 ● 4乗の計算（$18 \times 18 \times 18 \times 18$など）
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 答えが5桁になる式の暗算ができること ● 3級レベルを10秒以内に計算できること

※ 1級の出題については、理事会の精査中です。